

毎週日曜発行
2024 9/15

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



子宮頸がんを予防するには

ニュース



子宮頸がんって知ってる？ おなかの中で赤ちゃんを育てる子宮の入り口にできるがんで、日本で1年に約2900人の女性が亡くなっているんだって。原因はヒトパピローマウイルス（HPV）感染予防には、小学6年から接種できるワクチンが有効とされているよ。



山形市で8日にあった子宮頸がんに関する市民講座で、山形大病院産科婦人科助産師の山内敬子さんが「20〜30代の患者が増えている。治療のため子宮を失ったり、若い人が命を落としたりすることは深刻な問題です」と話しました。

のうち、特にがんを引き起こすリスクが高い7種の感染を防ぐ効果があるそうです。小学6年〜高校1年相当の女子は無料で接種できます。「HPVは性交渉で感染します。性的接触のない早い段階で接種することが大事です」と山内さんは言います。

子宮頸がんにならないために「まずワクチンを接種してHPV感染を防ぎ、20歳以降は2年に1度検診を受ける『合わせ技』が一番効果的です」

どうする？ 子宮頸がんワクチン接種

子宮頸がんってなあに？

- 特徴：子宮の入り口にできるがん 20〜30代の若い女性に増えている
- 原因：性交渉によるヒトパピローマウイルス（HPV）感染

子宮頸がんの進行

正常 → HPV感染 → HPVの持続感染 → 前がん病変 → 子宮頸がん

ヒトパピローマウイルス感染

ほとんどは自然に消える → 一部の人は消えずにずっと感染状態になる → がんになる手前の状態になる

数年〜10数年かかり進行する

ワクチンって？

- 定期接種対象者：小学6年〜高校1年相当の女子 1997年〜2007年度生まれの女性も24年度末まで対象
- 接種方法：筋肉注射

接種スケジュール（シルガード9の場合）

15歳前に1回目接種 → 0カ月（1回目） → 6カ月（2回目） → 計2回

15歳後に1回目接種 → 0カ月（1回目） → 2カ月（2回目） → 6カ月（3回目） → 計3回

- 効果：がんになる危険性が高い2〜7種類のHPV感染防止ができる
- 副反応リスク：（シルガード9の場合）接種部位の痛みや腫れなどの報告頻度は1万人に約3人 このうち、呼吸困難や手足に力が入らないなどの重い症状は1万人に約3人

相談先

- 接種後健康に異常がある場合…接種を行った医師やかかりつけ医
- 不安や疑問がある場合…都道府県に設置された窓口

宮城県：県疾病・感染症対策課 022(211)3644
※厚生省のパンフレットを基に作成

ワクチン接種と検診を

と力を込めました。国は2013年、接種後に全身の痛みなどを訴える人が相次いだため、接種を促すことをやめました。安全性と有効性を確認して22年に呼びかけを再開。接種後に症状が出た場合の相談窓口や、医療機関の協力体制を整えました。



仙台市によると、昨年度の高校1年相当の接種率は4割弱。担当者は「当初7〜8割だったことを考えると、まだまだ低い」と言います。

呼びかけを中止した時期に接種の機会を逃した女性（1997〜2007年度生まれ）に、国は無料接種を行っています。期限は本年度末まで。3回接種するには半年、間を置く必要があります。無料で接種を終えるには、9月末までに1回目を済ませる必要があります。みんなで正しい知識を共有し、接種するかを決めましょう。

今週の注目ニュース

◇17日（火） 中秋の名月
旧暦の8月15日（十五夜）に見える月のこと。年によって満月でないこともあり、今年は翌18日が満月になります。秋の実りに感謝する行事で、中国やベトナムでは伝統の焼き菓子「月餅」を贈る習慣があります。

今日の紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる！ こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ